

かめ づか 亀塚遺跡発掘調査通信

第1号

発行 2016. 11. 1

亀塚遺跡は、鹿乗川流域遺跡群の最南端にある遺跡で、鹿乗川を挟んだ東西の沖積地(低地)に立地しています。発掘調査は1973年以降、3回行われています。

これまでの調査では弥生時代後期から古墳時代前期の野外炉や杭列、古代の溝などが発見されていますが、竪穴建物(住居)・掘立柱建物など集落に関わる遺構は見つかっていません。このことから亀塚遺跡は集落の周縁地域であったと考えられています。

出土遺物では、1977年に入れ墨を施した弥生人の顔を写實的に描いた人面文壺形土器(写真1)が出土しており、当時の習俗をうかがうことが出来る資料として全国的に注目を集めました。この人面文土器は1973年に出土した桜皮卷土器(写真2)とともに県指定文化財に指定されています。また、今年人面文土器は国の重要文化財に指定されました。そのほか、銅鏃・竪櫛・水銀朱を塗りつぶした石杵、尾張・駿河・畿内地域の外来系土器、鳥形木製品・鳥形土器など祭祀に関わる遺物などが見つかっており、市内でも質・量ともに多様で豊富な遺物が出土する遺跡であるといえます。

さて、今回の発掘調査では亀塚遺跡の南東部、人面文土器が出土した2次調査地点から南東へ約120m、桜皮卷土器が出土した1次調査地点から南東側のほぼ隣接した地点です。調査面積は約1,300㎡で、調査期間は1月下旬まで行う予定です。現在、発掘作業は重機にて表土(近現代の堆積土)の掘削を行っています。これからどんな遺構・遺物が発見されるか楽しみです。地元説明会の開催も予定しておりますが、近隣の皆様へは定期的に発掘調査通信を掲示・配布いたしますので、埋蔵文化財に対するご理解を深める一助にいただければ幸いです。

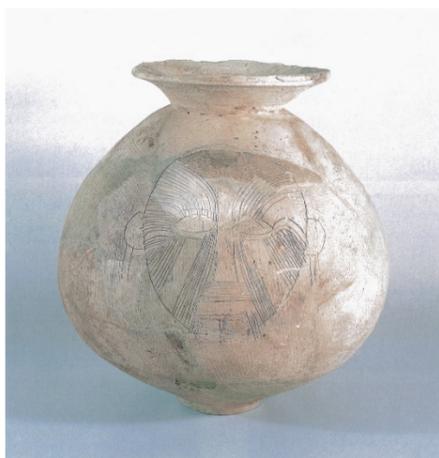


写真1 人面文壺形土器

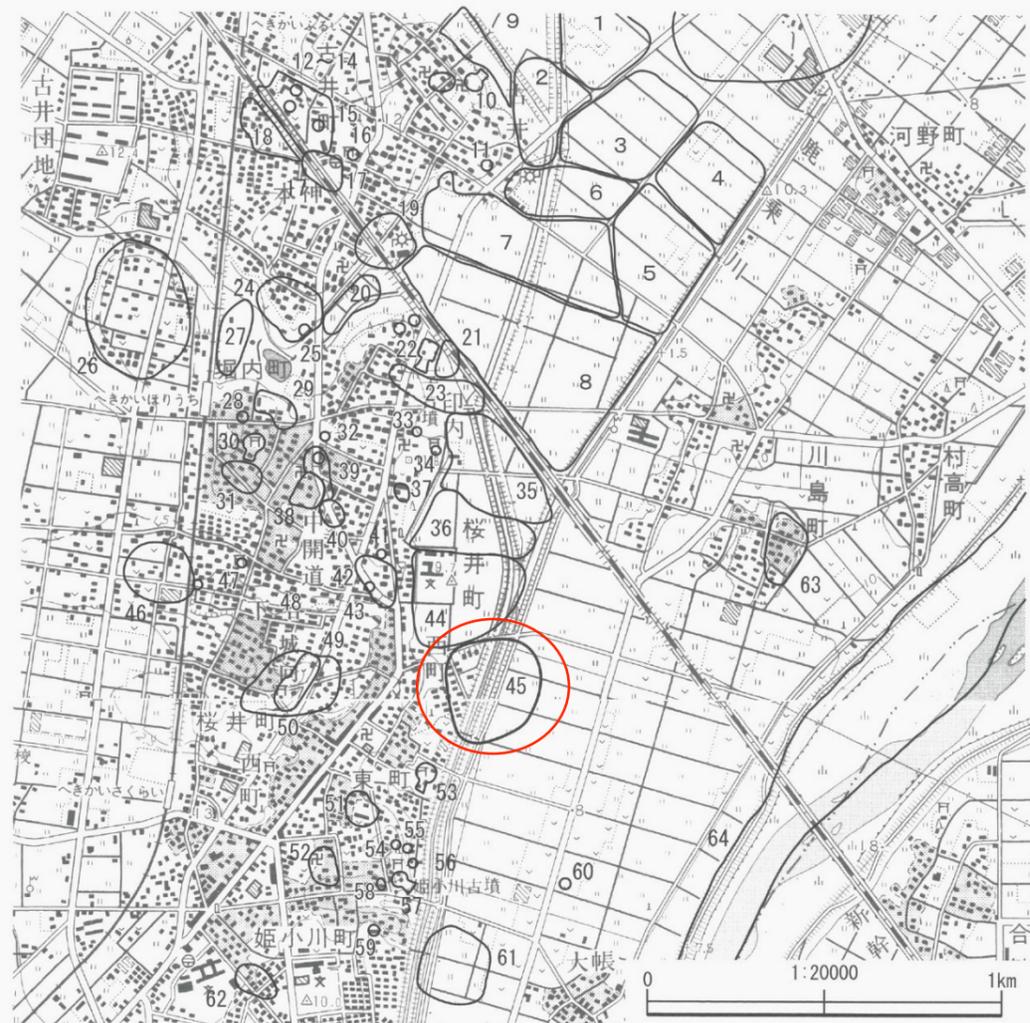


写真2 桜皮卷土器

【引用参考文献】

写真2・・・「亀塚遺跡Ⅰ」 安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第16集 2006

写真1、図1・2・・・「亀塚遺跡Ⅱ」 安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第18集 2007 より転載



- | | | | |
|-----------|-----------|-------------|------------|
| 1 神ノ木遺跡 | 17 井ノ池遺跡 | 33 山伏塚古墳 | 49 桜井城跡 |
| 2 稲尾遺跡 | 18 石原遺跡 | 34 比蘇山古墳 | 50 城阿原遺跡 |
| 3 竹カ花遺跡 | 19 古井堤西遺跡 | 35 宮下遺跡 | 51 姫小川城跡 |
| 4 上橋下遺跡 | 20 釈迦山遺跡 | 36 宮下南遺跡 | 52 誓願寺境内地 |
| 5 下橋下遺跡 | 21 二タ子遺跡 | 37 宮西遺跡 | 53 獅子塚古墳 |
| 6 野辺遺跡 | 22 二子古墳 | 38 円光寺境内地 | 54 姫地下壙 |
| 7 彼岸田遺跡 | 23 桜林遺跡 | 39 中開道遺跡 | 55 姫塚古墳 |
| 8 古井堤遺跡 | 24 本神遺跡 | 40 寒池遺跡 | 56 崖古墳 |
| 9 塚下遺跡 | 25 本神地下壙 | 41 塔の元1号地下壙 | 57 姫小川古墳 |
| 10 塚越古墳 | 26 形谷遺跡 | 42 塔の元遺跡 | 58 姫遺跡 |
| 11 東川古墳 | 27 北阿原上遺跡 | 43 塔の元2号地下壙 | 59 王塚古墳 |
| 12 三ッ塚1号墳 | 28 羽開道地下壙 | 44 中狭間遺跡 | 60 八ッ塚古墳 |
| 13 三ッ塚2号墳 | 29 堀内貝塚 | 45 亀塚遺跡 | 61 姫下遺跡 |
| 14 三ッ塚3号墳 | 30 堀内古墳 | 46 山ノ寺遺跡 | 62 的場遺跡 |
| 15 三ッ塚遺跡 | 31 堀内古屋敷 | 47 もも塚古墳 | 63 太田古屋敷跡 |
| 16 愛染古墳 | 32 碧海山古墳 | 48 桜井戸跡 | 64 矢作川河床遺跡 |

図1 遺跡位置図



図2 調査地点位置図

発注者：(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター
 施工者・株式会社アート 愛知支店